

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公開番号】特開 2006-115987(P2006-115987A)

【公開日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報 2006-018

【出願番号】特願 2004-305626(P2004-305626)

【国際特許分類】

A 4 7 G 9/02 (2006.01)

A 4 7 G 9/10 (2006.01)

【F I】

A 4 7 G 9/02 B

A 4 7 G 9/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 2 日 (2007.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重量比 20%～80%の割合で単繊維繊維度が 0.05～1.5 d t e x の細短繊維 A と、重量比 20%～80%の割合で単繊維繊維度が 3.0～10.0 d t e x の中空太短繊維 B が混合されてなり、かつそれらの少なくとも 1 種の繊維にポリシロキサンを含む油剤が重量比 0.05～5%の範囲で付与されていることを特徴とする詰め綿。

【請求項 2】

重量比 20%～95%の割合で単繊維繊維度が 0.05～1.5 d t e x の細短繊維 A と、重量比 5%～80%の割合で単繊維繊維度が 10.0～30.0 d t e x の中空極太短繊維 C が混合されてなり、かつそれらの少なくとも 1 種の繊維にポリシロキサンを含む油剤が重量比 0.05～5%の範囲で付与されていることを特徴とする詰め綿。

【請求項 3】

重量比 20%～70%の割合で単繊維繊維度が 0.05～1.5 d t e x の細短繊維 A と、重量比 25%～75%の割合で単繊維繊維度が 3.0～10.0 d t e x の中空太短繊維 B と、重量比 5%～55%の割合で単繊維繊維度が 10.0～30.0 d t e x の中空極太短繊維 C が混合されてなり、かつそれらの少なくとも 1 種の繊維にポリシロキサンを含む油剤が重量比 0.05～5%の範囲で付与されていることを特徴とする詰め綿。

【請求項 4】

細短繊維 A と中空太短繊維 B の繊維度が次式を満足することを特徴とする請求項 1 記載の詰め綿。

$$\text{細短繊維 A の繊維度} \times 5.0 \leq \text{中空太短繊維 B の繊維度}$$

【請求項 5】

細短繊維 A と中空極太短繊維 C の繊維度が次式を満足することを特徴とする請求項 2 記載の詰め綿。

$$\text{細短繊維 A の繊維度} \times 15.0 \leq \text{中空極太短繊維 C の繊維度}$$

【請求項 6】

細短繊維 A と中空太短繊維 B と中空極太短繊維 C の繊維度が次式を満足することを特徴とする請求項 3 記載の詰め綿。

細短繊維 A の繊維度 $\times 5.0$ 中空太短繊維 B の繊維度、
 細短繊維 A の繊維度 $\times 15.0$ 中空極太短繊維 C の繊維度、
 中空太短繊維 B の繊維度 $\times 3.0$ 中空極太短繊維 C の繊維度

【請求項 7】

詰め綿を構成する少なくとも 1 種の繊維の繊維間摩擦係数 μ_s が、 0.2 以下であることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の詰め綿。

【請求項 8】

中空繊維の中空率が、 10 から 70% の範囲であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載の詰め綿。

【請求項 9】

詰め綿を構成する少なくとも 1 種の繊維が、生分解性のポリマからなることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載の詰め綿。

【請求項 10】

詰め綿を構成する少なくとも 1 種の繊維に、銀、カルシウム、または銅を含む油剤が、重量比 $0.1 \sim 10\%$ の範囲で付与されていることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の詰め綿

【請求項 11】

詰め綿に 0.3 g/cm^2 の圧力を 10 分かけたときの詰め綿の厚みを初期厚みとし、さらに 4 g/cm^2 の圧力を 1 分かけたときの詰め綿の厚みを圧縮厚みとし、さらに再び 0.3 g/cm^2 の圧力に戻し 10 分後の詰め綿の厚みを初期回復厚みとし、そして 60 分後の詰め綿の厚みを後期回復厚みとしたとき、下記計算式で表される圧縮率が $55 \sim 80\%$ で、初期回復率が $40 \sim 70\%$ で、後期回復率が $50 \sim 80\%$ で、かつ時差回復率が $20 \sim 50\%$ であることを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれかに記載の詰め綿。

[計算式]

(初期厚み - 圧縮厚み) / 初期厚み $\times 100 =$ 圧縮率

(初期回復厚み - 圧縮厚み) / (初期厚み - 圧縮厚み) $\times 100 =$ 初期回復率

(後期回復厚み - 圧縮厚み) / (初期厚み - 圧縮厚み) $\times 100 =$ 後期回復率

(後期回復厚み - 初期回復厚み) / (初期厚み - 初期回復厚み) $\times 100 =$ 時差回復率